

医学図書館Today

No.38



Photo by
成瀬一郎 医学図書館長

図書館セミナーを開催

医学図書館では、今回で9回目となる図書館セミナー「**人体模型 見て触って人体や臓器を感じてみよう!**」を平成25年12月25日（水）、211講義室で開催しました。医学科解剖学講座の中根裕信先生が講師で11名の参加でした。

まず、最初に学生さんの要望で今年度加わった呼吸器（喉頭、気管、肺）、男性骨盤内臓器、女性骨盤内臓器、腎臓・膀胱周辺臓器（膀胱、腎臓、脾臓）を紹介していただきました。特に男性・女性骨盤内臓器は、臨床的に重要であるが立体的に理解することが難しく、講義・実習の予習・復習のために模型を活用すると理解が深まると話されました。

次に『病が語る日本史』（酒井シズ著、講談社学術文庫）から、正倉院に約60種類の中東・インド・中国由来の薬草が御物として収蔵されていて、これらの薬草は民を救い国を安泰にするため施薬院で用いられたとの紹介がありました。これらの薬草は現在も漢方薬として使用されているとのことでした。さらに薬草に関連したお正月の話題も紹介され、お正月定番の“お屠蘇”は、「邪気を屠（ほふ）り、心身を蘇（よみがえ）らせる」という意味で、お酒やみりんに数種類の生薬を調合し漬け込んだものが本来のお屠蘇だそうです。昨今はお酒のみで代用している家庭が多いようです。



アンケートには「いつもは本などで学習し、立体的なイメージがつかみにくいので人体模型は貴重な教材です」「漢方の話は興味があり楽しかったです。もっと知りたくなった」などの感想が寄せられました。

セミナー後は、参加者の皆さんに臓器模型を見て、触って、感じてもらいました。今回参加されなかった学生さんも、これらは館内貸出しますので、是非、図書館で人体のイメージをつかんでみてください。

公開講座「関節と骨の健康を考える」

平成25年12月22日（日）、萩野浩教授（リハビリテーション部部長併任）を講師に「関節と骨の健康を考えるーロコモティブシンドロームの科学ー」の講演を行いました。この講演は鳥取大学公開講座として、米子市立図書館・境港市民図書館・南部町立図書館の共催で米子市立図書館で開催しました。



当日は、小雨の降る肌寒い中、90名のご参加がありました。日常生活に支障をきたすロコモティブシンドロームについて、関節や骨、筋肉との関係をわかり易く、説明していただきました。

参加者のアンケートでは、「ユーモアを交え、身振り手振りの説明で大変わかり易かった」「参考になり勇気づけられました」「運動と食事の大切さがわかった」などのご意見があり、皆様の健康に関する関心の高さが窺えました。

是非ご参考に!

<今回の講演会でご紹介のあったホームページ>

- ・ロコモチェック（日本整形外科学会公認）→<https://locomo-joa.jp/check/>
- ・10年以内の骨折リスク評価（FRAX）→<http://www.shef.ac.uk/FRAX/tool.jsp?lang=jp>

お知らせ



文献複写申込み

★ 科研費での文献複写の申込みは、
0 0 0 0 0
1月17日(金)の申込分までとさせていただきますのでご協力のほど、お願い致します。

文献ダウンロード

同一雑誌の論文をまとめて何号にもわたってダウンロードするなど、本文ファイルの大量のダウンロードは契約上禁止されております。ご協力をよろしくお願い致します。

電子ジャーナル

★ 電子ジャーナル中止のお知らせ
Academic Search Premier (EBSCOhost)の約4600タイトルは、全学経費による購入中止に伴い、今年3月末日までの利用となります。
詳細は以下URIよりご覧ください。

<http://www.lib.tottori-u.ac.jp/gakunai/oshirase/20131206.html>

1月18日(土)・19日(日)は、センター試験のため**休館**します。

ビブリオバトル in 鳥大(米子キャンパス)

鳥取大学米子地区キャンパスにて**ビブリオバトル**を開催いたします。持ち時間5分間、己が弁舌のみで本を紹介しあう「知的書評合戦」!小説、専門書から漫画まで、「本」であつたらなんでもOK!

本好きの方、本を読んだ感動を広めたい方等、ぜひご参加ください!!

※今大会はビブリオバトルを広く知っていただくための予備大会となります

[日時] 2月中旬から下旬 30分~1時間程度
(詳細な日程は出場者間で調整します)

[出場方法]

近日中に申込用紙を医学図書館カウンター等に
ご用意します(もう少々お待ちください)

* 出場者は学生限定です

図書館に入ってすぐのブラウ
ジングコーナーでやります!



<鳥取県立図書館職員派遣研修を実施>

図書館では県立図書館職員との相互派遣研修を実施しています。今回は、12月10日~12日の3日間、県立図書館の情報相談課司書の方が来られ、医学図書館での業務を体験されました。



☆学生の



押し★

『解剖医ジョン・ハンターの数奇な生涯』

十八世紀半ばにおいて古典的な医学に終始する風潮の中、ジョン・ハンターは自身で大量の解剖を行うことで新事実を次々と発見しました。膨大な標本、進化論の発見、そして彼の名を冠したハンター手術やハンター管。後世に残した偉業を以て近代外科学の父と呼ばれる彼には墓泥棒という裏の顔がありました。

まさに「奇人」と言えるユーモラスなエピソードに加え、当時の医療・健康事情も垣間見える興味深い一冊。歴史好きな方もそうでない方も痛快エピソードに引き込まれることでしょう。ぜひ、ご一読下さい。

医学科4年 S.E

著者: Moore, Wendy

出版: 河出書房新社

ここにありませ

289.3

Mua



香陽文庫の絵本から

Kayo-bunko

黒ねこのおきゃくさま / ルース・エイズワース 著 山内ふじ江 絵

貧しいおじいさんが楽しみにしているのは、土曜に食べるおいしいお肉とミルクに浸したパンでした。寒い吹雪の晩、ずぶぬれでお腹はべっしゃんこ、尻尾は靴ひものようなみずぼらしい黒ねこがやってきました。その黒ねこのために食料をすべてやり、暖炉のまきもすべて燃やしました。



福音館書店 1999.10

満足そうにのどをごろごろ鳴らす黒ねこを見ておじいさんは、「なんて心地がいいんだろう。なんて静かな気持ちなんだろう。なんて心がいっぱいなんだろう。」

このお話は童話として書かれたものに絵を付けた作品。やさしくソフトで繊細なタッチで描かれています。少しずつ満足していく黒ねこの変化の様子が実にうまく描かれています。



香陽文庫
大人も楽しめる絵本が揃ってます

ご意見・ご感想をお寄せください

鳥取大学医学図書館 (担当 石田・足立・前田)

Tel : 0859-38-6462 (内線6462) / Fax : 0859-38-6469 (内線6469)

E-mail : ac-igakujo@adm.tottori-u.ac.jp

* 新着図書リスト * 12月~1月

分類番号	書名等	著者	出版事項
146.8:Ito	パーソンセンタード・アプローチの挑戦	伊藤義美 他編	創元社 2011.3
146.8:Yam	ストレスマネジメントと臨床心理学	山中寛著	金剛出版 2013.10
369.4:Gan	子どもの貧困と教育機会の不平等	鷹咲子著	明石書店 2013.9
377.13:Ues	大学職員は成長する	上杉道世著	学校経営研究会
410.4:Tak	体感する数学	竹内薫著	エンターブレイン
417:Har	統計解析の心構えと実践	原田章 他著	ナカニシヤ出版 2013.10
460:Fuk	やわらかな生命	福岡伸一著	文藝春秋 2013.8
461:Kau	自己組織化と進化の論理	スチュアート・カウフマン著	筑摩書房 2008.2
463.7:Kon	波紋と螺旋とフィボナッチ	近藤滋著	学研メディカル秀潤社
463:BoI	基礎コース細胞生物学	Stephen R. Bolsover [ほか] 著	東京化学同人 2013.9
464.1:Wat	21世紀の分子生物学	渡辺公綱, 桂勲編	講談社 2013.8
467.03:Kok	遺伝子図鑑	国立遺伝学研究所編	悠書館 2013.10
M01.54:Uid	脳死	エルコ・ウィディックス著	へるず出版 2013.1
M01.9:Not	2週間でマスターするエビデンスの読み方・使い方のキホン	能登洋著	南江堂 2013.9
M07:Shi	明日の医療のための医学教育	嶋田紘著	診断と治療社 2013.5
M09:Usi	疾患・症状別はじめての漢方治療	後山尚久編集	診断と治療社 2013.5
M11:Tos	透視人体解剖図	新井正治編	金原出版 2004.3
M13.67:Uok	ストレッチと筋の解剖	ブラッド・ウォーカー [著]	南江堂 2013.11
M16.5:Shi	がん基盤生物学	清木元治総編	南山堂 2013.10
M17.7:Iku	ウイルスと感染のしくみ	生田哲著	ソフトバンククリエイティブ 2013.9
M17:Kit	休み時間の微生物学	北元憲利著	講談社 2008.4
M21:Nog	診断に自信がつく検査値の読み方教えます!	野口善令編	羊土社 2013.10
M22.6:Jom	静脈経腸栄養ガイドライン	日本静脈経腸栄養学会編	照林社 2013.5
M24.3:Mur	肝胆膵脾のCT・MRI診断	村上卓道, 岡田真広著	金芳堂 2013.10
M24.36:Nai	画像でみる脊椎・脊髄	Naidich [ほか] 原著	医歯薬出版 2013.9
M29.13:San	看護に役立つ!エコーの読み方活かし方	真田弘美 他編集	照林社 2013.7
M29.16:Shi	ここから始める!人工呼吸ケア	磨田裕編著	照林社 2013.4
M29.26:Kit	はじめての褥瘡ケア	切手俊弘著	照林社 2013.6
M31:Tan	病態と治療戦略がみえる免疫・アレルギー疾患イラストレイテッド	田中良哉編	羊土社 2013.10
M32:Jun	循環器治療薬の選び方・使い方	池田隆徳編集	羊土社 2013.2
M33:Uts	早期離床ガイドブック	宇都宮明美編著	医学書院 2013.10
M37.3:Yam	痛み・しびれ	山本隆充編	真興交易(株)医書出版部 2013.11
M39.38:Bra	ネルソン小児感染症治療ガイド	John S. Bradley 他[著]	医学書院 2013.8
M42:San	周術期モニタリング徹底ガイド	讃岐美智義 他編	羊土社 2013.11
M48:Ume	あらゆる診療科で役立つ皮膚科の薬症状からの治療パターン60	梅林芳弘著	羊土社 2013.10
M54.6:Ito	乳房画像診断最前線	位藤俊一編	南江堂 2013.7
M72:Fuk	ヘルシー・エイジングに役立つ歯科統合医療	福岡博史編著	医学と看護社 2013.11
M81.2:Shi	医療事故ゼロのための60の鉄則	柴田義朗著	医学通信社 2013.11
M98:Wat	漢方薬使い分けの極意	渡辺賢治著	南江堂 2013.4
910.268:Shi:	司馬遼太郎の街道 1		朝日新聞社 2013.8-
913.6:May:1	グリード 上~下	真山仁著	講談社 2013.10

新着雑誌 特集記事 のご紹介

雑誌名	巻号	特集記事
臨床雑誌外科	76巻1号(1月1日号)	消化器外科術後合併症の治療
胸部外科	67巻1号(1月1日号)	胸壁・横隔膜の手術 その1
ホルモンと臨床	60巻6号(2012年6月1日号)	副腎腫瘍の手術適応
内科	113巻1号(1月1日号)	糖尿病治療のパラダイムシフト
medicina	51巻1号(1月10日号)	消火器薬 一新時代の治療指針ー
最新医学	61巻1号(1月10日号)	糖尿病ー診断・治療 Updateー
クリニカルスタディ	35巻1号(1月10日号)	新出題基準対応! 2014看護師国試予想問題
プチナース	30巻1号(12月20日号)	国試対策のプロが教える合格を確実にする1問 改定出題基準対応
エキスパートナース	30巻1号(12月20日号)	今すぐチェック! 褥瘡予防マットレスの使い方
月刊ナーシング	34巻1号(12月20日号)	【特集1】人工呼吸器管理なぜ?がわかる【特集2】心不全 治療・ケアの最前線
看護教育	55巻1号(1月25日号)	授業研究のすすめ
看護技術	60巻1号(1月20日号)	メンタルケアを取り入れたディジーズマネジメント 包括的なうつ病管理の実践
看護展望	39巻1号(12月25日号)	組織を活性化する 看護管理者の育成
看護展望臨増	39巻2号(12月25日号)	退院支援・地域連携
検査と技術	42巻1号(1月1日号)	臨床検査技師の「知りたい!」にこたえる
公衆衛生	78巻1号(1月15日号)	公衆衛生の原点を学ぶ イギリスの挑戦
遺伝	68巻1号(1月1日号)	iPS細胞/ES細胞の生物学
化学	69巻1号(1月1日号)	明日の化学を担う女性化学者 夢を語る
こころの科学	173号(1月1日号)	精神科クリニック 現状とこれから
Newton	34巻2号(2月7日号)	天才の脳 肥満の科学
日経パソコン	688号(12月23日号)	【特集1】最新トピックスで理解するパソコンの法律必須知識33【特集2】仕事にもばっちり使えるWindows8 タブレットの選び方【特集3】紙の手帳より便利に使いこなすスマートフォン手帳活用術2014
別冊日経サイエンス	165号(12月16日号)	宇宙の誕生と終焉

* 寄贈図書 新着リスト *

分類番号	書名等	分類番号	書名等
M01. 9:Ike	医系の統計入門	M47. 8:Rih:13	リハビリテーション医学白書
M14. 5:Tak	炭酸脱水酵素	M55:Sug	産科診療マニュアル
M21:Dhu	誰にでもわかる検査データ解読本	748:Tot:13	鳥取大学医学部光画部写真集
M3:Tak	病気の設計図 = Roots of diseases	913. 6:Ari	海の底
M31. 23:Kup	ミラクル: エリザベス・ヒューズとインスリン発見の物語	913. 6:Nak	犬: 他一篇
		913. 6:Nak	銀の匙
M47. 7:Yos	未来型人工関節を目指して	913. 8:Nak	菩提樹の蔭: 他二篇

ありがとうございました。